

令和元年度

学生によるオレンジリボン運動

新潟青陵大学 実施報告書



実施主体 助産選択学生(3年生) 14名

実施内容 令和元年10月26日、27日の大学祭にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

授業等において児童虐待、子育ての現状について学んでいる。

児童虐待の新聞記事をもとに、虐待の背景や対応について分析した。

児童虐待の知識を深めることで、来場者に何を伝える必要があるか明確となり、パネル制作を行った。

オレンジリボンを多くの人に知ってもらいたいと願いを込めて、オレンジリボンを作成した。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

大学祭では、教室内でパネルの展示と説明、児童虐待防止全国ネットワークの公式ポスターの掲示、手作りオレンジリボンの配布、アンケートの実施を行った。また、虐待について理解を深めてもらえるよう、クイズラリーを行った。

③オレンジリボン運動を終えて…

児童虐待の実態を学ぶ過程で、自分たちが今できることは何か考える機会となった。

虐待の要因から、虐待をしている親自身が支援を求めており、特に妊娠期から育児期までの母親およびその家族と関わる助産師の役割の重要性について再確認できた。

最後に、オレンジリボンを知らない人も多く、「児童虐待防止運動」を継続して実施していきたい。



【学校名】 新潟青陵大学 <http://www.n-seiryu.ac.jp>